

			E Z - W I N総合評価シート			23.10.29 (日) 東京11R G1天皇賞秋 芝2000mB 3歳上定量 15:40																	
間隔	総合評価点数	国内評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	注目血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	2000m以下の重賞実績評価
5	33	33		1	1	美)ノースブリッジ	牡5	58	11		△		A	2,10	5,13	4,2	6	272	0	岩田康	奥村武	R	C
5	15	15		2	2	栗)エヒト	牡6	58	10			B		9,10	4,2	11,7	4	82	0	横山和	森秀行		C
31	47	57	▲	3	3	栗)ドウデュース	牡4	58	2			B	AA	取消	11,1	海外	47	102	41	武豊	友道康		A
10	30	35		4	4	美)ダノンペルーガ	牡4	58	3					11,6	海外	10,6	26	91	12	J.モ	堀宣行	R	B
5	49	49	★	5	5	栗)ガイアフォース	牡4	58	7	B	★	C	B	3,7	9,3	7,2	10	101	13	西村淳	杉山晴	R	B
18	50	50		6	6	栗)ジャスティンパレス	牡4	58	6	A			A	12,3	8,1	4,1	10	76	13	横山武	杉山晴	R	
18	49	54	◎	6	7	美)イクイノックス	牡4	58	1	A	注	D+		16,2	海外	9,2	75	85	67	C.ル	木村哲		A
10	23	23		7	8	美)ヒシイグアス	牡7	58	8					14,2	5,10	9,1	12	79	5	松山弘	堀宣行		C
10	37	42		7	9	栗)プログノース	牡5	58	4		△		A	13,1	海外	10,1	29	81	12	川田将	中内田		C
10	40	40	○	8	10	栗)ジャックドール	牡5	58	5	C	注		A	4,8	2,9	1,8	18	84	5	藤岡佑	藤岡健	R	B
3	35	35		8	11	栗)アドマイヤハダル	牡5	58	9				A	11,1	8,4	4,6	12	89	9	菅原明	大久保展		C

【血統傾向】

父にも母父にも欧州血統を持たない馬が優勝したのは2013年のジャスタウェイまで遡る事になります。

単系の馬券を買うならば、父か母父が欧州型の馬をアタマに据えるのが合理的でございましょう。

過去10年で、ディーブ産駒は未勝利ですが、11頭を馬券圏内に送り込んでおります。

今年はジャスティンパレスとプログノーシスの2頭が出ておりますが、前者は長い所向きで、後者はパワーの必要な雨馬場の洋芝で圧勝。

どちらも天皇賞秋とは結びつけにくい実績馬と言う考え方もございますな。

【距離実績の傾向】

天皇賞秋はマイル重賞でも勝ち負けできるようなスピードが問われます。

過去の3着以内馬には、1800m以下の重賞で3着以内か2000m重賞に勝鞍がありました。

これは天皇賞春の勝ち馬の場合も例外ではなく、

- ・フィエールマン:1800m重賞2着
- ・キタサンブラック:1800m重賞勝ち
- ・レインボーライン:1600m重賞勝ち

このように、1800m以下の重賞に実績を持っておりました。

今年は天皇賞春勝ち馬ジャスティンパレスが出ておりますが、彼には2000m重賞勝ち鞍が無く、スピード不足を露呈する可能性を秘めております。

また、東京芝コースの重賞で3着以内の実績があった馬が馬券になりやすいレースでもあります。

【予想見解】

◎7番イクイノックス

近9年の勝ち馬は全て父か母父が欧州型。

本馬の母父は欧リファール系でございます。

ルメール殿が「勝つ自信アリマス。大丈夫」
と仰せでございますので、馬の力、血統の力を含め
1着固定軸とさせていただきます。

○10番ジャックドール

父:モーリス(欧ロベルト系)天皇賞秋優勝馬

母父:アンブライドルズソング(米ミスプロ/ファピアノ系)

参考までに、母父にファピアノ系の血を持たせると、
東京の1600m~2400mの根幹距離への
適性が非常に高くなり、東京の芝G1では
父の系統に関係なく、複勝率52.2% 複回率118%と、
非常に回収期待値が向上致します。

また、牝系ファミリーからは世界を股にかけた
1400m~2000mのG1ホースを複数輩出しております。

ステートオブレスト(愛国調教馬)は
米・豪・仏・英4か国の2000m級G1を制覇。

母の従姉妹ミージカルチャイズ(仏国調教馬)は
G1仏1000ギニー(芝1600m)優勝馬で、
米国のG1(芝1800m)2着馬。

母の従姉妹ミュージックノート(米国調教馬)は
米国のダート1400m~2000mのG1を5勝

母の従兄妹に種牡馬ストーミングホーム
(英国調教馬。英・米の2000mG1を3勝)

このような牝系出身馬ですから、
安田記念でも一流マイラー4頭を相手に
僅差の5着に好走出来たのでございましょう。

天皇賞秋は、マイラーが好走しやすいレース。
血統構成・血筋ともに、レース適性は低くないと見ております。

昨年はパンサラッサが引っ張った消耗戦で、
展開を味方に後方から足を伸ばした2頭に交わされましたが、
次走のJCで2着に走ったダービー馬シャフリヤールには
先着を果たしておりました。

今年は展開的に、昨年よりもかなり楽になるはずで、

上位争いに加わるであろうと考えております。

★5番ガイアフォース

父:キタサンブラック(Tサンデー系)

母父:クロフネ(米ND系/ヴァイスリージェント系)

祖母が比較的欧州寄りの配合でございます。

また、父か母父にヴァイスリージェント系を持つ馬は、
過去10年で22頭が出走し6頭が馬券絡みを果たしております。

距離適性がどこにあるのか分かりづらいタイプですが、
拙者個人としては、キャリア唯一の東京G1である
安田記念で、マイルG1馬4頭を相手に、
2着馬とタイム差無し4着と言う惜敗に
大きな価値を感じております。

秋天は、マイラーが走りやすいレースでもあり、
高速馬場の東京なら、母父クロフネの血が活きる
と言う可能性は十分でございますな。

2000mであれば好位から競馬が出来そうで、

今年の先行勢手薄+小頭数であれば、
ジャックドールとセットで、前が残るかも知れませぬ。

▲3番ドゥーデューズ

父:ハーツクライ(Tサンデー系)

母父:ヴィンディケーション(米ボールドルーラー系)

祖母父:ゴーンウエスト(米ミスプロ系)

ハーツクライ産駒は、東京コースでは
2000mよりも2400mに向いております。

似通った母系の配合を持つハーツ産駒スワーヴリチャードも
(母父ミスプロ系・祖母父ボールドルーラー系)
ジャパンカップでは3着・1着でしたが、天皇賞秋では
1人気10着、5人気7着と2回とも人気以下に敗れました。

だからこの馬も同じようにダメだとは申しませんが、
土曜日と同じように、追込みが決まりにくい馬場が続くようなら
展開込みで、連を外す可能性も視野に入れておきたいところ。

【馬券】

EZ-WIN 推奨馬券
3連複4頭ボックス
3番・5番・6番・7番

くまもん馬券
馬単3点
7番⇒3・5・10

3連単6点
7番⇒3・5・10⇒3・5・10

ワイド3頭ボックス
3・5・10